

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年4月12日(2018.4.12)

【公開番号】特開2017-86926(P2017-86926A)

【公開日】平成29年5月25日(2017.5.25)

【年通号数】公開・登録公報2017-019

【出願番号】特願2016-246705(P2016-246705)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月2日(2018.3.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立により所定の特別遊技を行うか否かの判定を行う判定手段と、

前記判定手段により前記特別遊技を行うと判定された場合、前記特別遊技の後、第1遊技状態よりも遊技者に有利な第2遊技状態で遊技を制御可能な遊技状態制御手段と、

前記判定手段により前記特別遊技を行うと判定された場合、前記特別遊技として、第1特別遊技又は前記第1特別遊技よりも遊技者に有利な第2特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、

前記判定手段の判定結果に応じた演出を実行する演出実行手段と、を備えた遊技機であって、

前記遊技状態制御手段は、前記第1遊技状態に制御されているときに前記第1特別遊技が実行された後に前記第2遊技状態に制御する第1パターンと、前記第1遊技状態に制御されているときに前記第2特別遊技が実行された後に前記第2遊技状態に制御する第2パターンと、を有し、

前記演出実行手段は、前記特別遊技の実行の期待度が高いことを示唆する特別演出を実行可能であり、

前記第1パターンにより前記第2遊技状態に制御されている場合は、前記第2パターンにより前記第2遊技状態に制御されている場合よりも、前記特別演出の実行割合を高く設定した

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

本発明に係る遊技機は、始動条件の成立により所定の特別遊技を行うか否かの判定を行う判定手段と、前記判定手段により前記特別遊技を行うと判定された場合、前記特別遊技の後、第1遊技状態よりも遊技者に有利な第2遊技状態で遊技を制御可能な遊技状態制御手段と、前記判定手段により前記特別遊技を行うと判定された場合、前記特別遊技として

、第1特別遊技又は前記第1特別遊技よりも遊技者に有利な第2特別遊技を実行可能な特別遊技実行手段と、前記判定手段の判定結果に応じた演出を実行する演出実行手段と、を備えた遊技機であって、前記遊技状態制御手段は、前記第1遊技状態に制御されているときに前記第1特別遊技が実行された後に前記第2遊技状態に制御する第1パターンと、前記第1遊技状態に制御されているときに前記第2特別遊技が実行された後に前記第2遊技状態に制御する第2パターンと、を有し、前記演出実行手段は、前記特別遊技の実行の期待度が高いことを示唆する特別演出を実行可能であり、前記第1パターンにより前記第2遊技状態に制御されている場合は、前記第2パターンにより前記第2遊技状態に制御されている場合よりも、前記特別演出の実行割合を高く設定したことを特徴とする。